

- 指 定 昭和57年度～58年度
- 研究主題 一人一人に自己を正しく見つめさせ、生きがいを持たせる進路指導

## 6 特別活動

### (1) 昭和58年度指導の重点

特別活動のもつ教育的意義や価値を正しく認識し、自校の教育目標の達成を目指しながら、実態に即して特色のある教育活動がなされるよう工夫する。

特に、児童生徒の自主的・実践的な集団活動を助長するよう、「なすことによって学ぶ教育活動」を中心に指導の充実を図るため、次の事項を重点として設定した。

- ① 集団活動をより充実するため、実態に即した創意ある指導計画に改善する。
- ② 児童生徒による自主的、実践的な活動が充実するよう、指導法の改善に努める。
- ③ 各内容ごとに指導の重点をあげ、その充実を図る。

### (2) 主な研修及び行事

#### ① 県小学校教育研究会、特別活動部会

##### ア 主 催

県教育委員会、県小学校教育研究会、開催市町村教育委員会

##### イ 研究主題

所属する集団の一員としての役割を自覚し、自発的・自治的な実践活動をする児童を育てる指導助言はどうすればよいか。

##### ウ 県研究協議会

◦期 日 昭和58年10月6日～10月7日

◦会 場 会津高田町立藤川小学校

#### ② 県中学校教育研究会、特別活動部会

##### ア 主 催

県教育委員会、県中学校教育研究会、開催市町村教育委員会

##### イ 研究主題

生徒の自主的・自治的活動を定着させる特別活動  
◦ひとり歩きのできる生徒の育成をめざして

##### ウ 県研究協議会

◦期 日 昭和58年9月29日～9月30日

◦会 場 福島市立福島第四中学校  
福島市立大島中学校  
福島市立吾妻中学校

## 7 幼稚園教育

本年度は幼稚園教育の振興施策の推進と市町村教育委員会の努力により、公立幼稚園 232園、五歳児の就園率が75.6%（全国平均63.8%）に達した。

しかし、幼稚園未設置町村並びに幼稚園の不足する町村の解消、教育内容の充実など、今後とも努力しなければならない問題が残されている。

本年度は市町村教育委員会並びに福島県公立幼稚園教育研究会、私立幼稚園協会等の協力を得て次の事業を実施した。

### (1) 幼稚園教育課程研究集会

#### ① 目 的

公立幼稚園における教育課程の編成及び実施、指導上の諸問題について研究協議し、教職員の指導力を高め、幼稚園教育の充実振興を図る。

#### ② 主 催

福島県公立幼稚園教育研究会

#### ③ 会 場

県北、県中、県南、相双、いわき、会津の六地区

#### ④ 期 日

昭和58年9月30日～11月2日のうち1日

#### ⑤ 研究主題

幼児がいきいきと活動し、一人一人が自己充実するには幼児の発達の姿をどうとらえ、どのように指導したらよいか。

#### ⑥ 参加者 960名（6地区合計）

### (2) 幼稚園教育課程研究発表会

#### ① 目 的

昭和58年度幼稚園教育課程都道府県研究集会の研究成果を発表交換し、幼稚園の教育課程の実施に伴う指導計画の作成及び指導上の諸問題を全国的規模において研究協議し、幼稚園教育の振興充実を図る。

#### ② 主 催 文部省

#### ③ 期 日 昭和59年1月25日～27日

#### ④ 会 場

総会 イイノホール  
分科会 オリピック記念青少年総合センター

#### ⑤ 参加者 9名

### (3) 幼稚園教育実技講習会

#### ① 目 的

幼稚園教育要領の中から「言語」領域について実技に関する研修を行い、その指導力を高め、幼稚園教育の充実振興に資する。

#### ② 主 催 文部省、福島県教育委員会

#### ③ 会 場 福島大学教育学部

#### ④ 期 日 昭和58年8月2日～8月5日

#### ⑤ 受講者 79名

#### ⑥ 内 容

教職に関する専門科目  
付与単位 保育内容の研究「言語」 1単位

#### ⑦ 講 師

福島大学教育学部教授 西久保 礼 造

### (4) 幼稚園教育指導者講座

#### ① 目 的

県内幼稚園の指導的立場にある教員を対象に幼稚園教育の内容、方法について研修を行い、その指導力を高め、幼稚園教員の資質の向上を図る。

#### ② 主 催 福島県教育委員会

#### ③ 会 場 福島県教育センター

#### ④ 期 日 昭和58年7月28日～7月30日

#### ⑤ 受講者 82名

#### ⑥ 内 容 講義及び演習

#### ⑦ 講 師 福島大学教育学部教授

西久保 礼 造

伊達郡保原町立保原幼稚園教諭

石川 ト キ